



'86 ベルリン国際映画祭 銀熊賞受賞

風の吹く処へ友の求める処へ……青春は愛と蹉跎の天才か

風よ、僕を狂わせろ!!

友よ、僕を抱きしめろ!!

ジュリオ

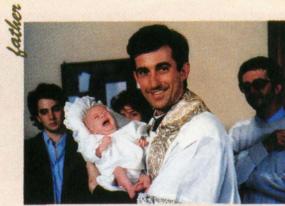
LA MESSA

の

当惑

FINITTA

とまどい



father



father/son

ナンニ・モレッティ
フェルッチョ・クレソツティ
エンリカ・マリア・モドゥニョ
マルガリータ・ロザーノ
マルコ・メッセリ
ロベルト・ベッツォーニ
ダリオ・カンタレリ
ヴィンチェンツォ・サレンメ

製作 ● アキッレ・マンゾッティ
原作・脚本 ● ナンニ・モレッティ & サンドロ・ベトラリア
監督 ● ナンニ・モレッティ
撮影 ● フランコ・ディ・ジャコモ
音楽 ● ニコラ・ピオヴァーニ

ナンニ・モレッティ原作・脚本・監督・主演

ほとぼしる愛と詩と映像の世界



イタリアン・ニュー・インディーズ
若き旗手、衝撃の初登場!!



family

イタリア映画
ファソフィルム製作
1985年度カラー作品



love for humanity

イタリアン・ニュー・インディーズ熱狂の初登場!

また一つ新しいシネマ・シーンが登場した。あふれるばかりの詩情と磨ぎすまされた感性の映像言語によって、日常と理想の境界を波のごとく横断してゆく青春の映画。過去と未来が、罪と友情が、光と影が、愛と死がめぐるめく交差しながら永遠の青春を希求する、まさに映像魔術の世界……

「ストレンジャー・ザン・パラダイス」のジム・ジャームツシュによって叫びをあげたシネマ・インディーズの流れは、この問題の一作「ジュリオの当惑」の監督ナンニ・モレットティによってとどめを刺す。まさに、センセーショナルな映画の登場だ。

'86年ベルリン国際映画祭で絶賛! 審査員全員が推し、銀熊賞・審査員特別賞を受賞!

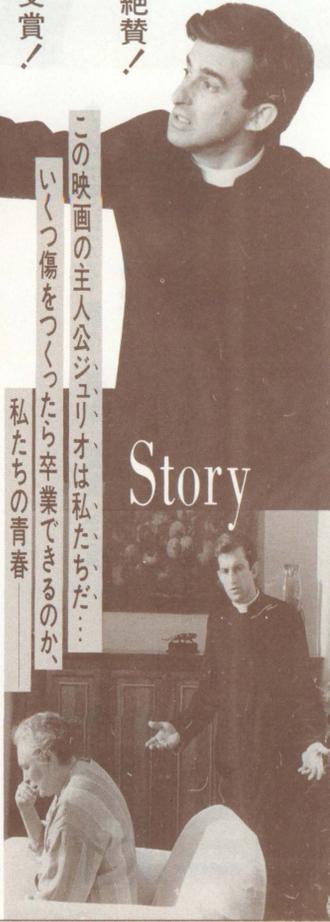
その日、ベルリンの夜は熱く震えあがった。誰もが想像していなかった若きイタリア人映画作家、しかも、原作、脚本、主演をこなす弱冠32才の天才ナンニ・モレットティが並いる審査員達の頭脳と心に衝撃を与えたのだ。その夜、世界各国のジャーナリストはナンニ・モレットティに殺到して取材を申し入れ、新しい映画の旗手におしめない賞辞を送った。イタリア人記者も自国のテレビカメラに向い興奮して喋った!

「これからはナンニ・モレットティの時代だ! イタリア映画の黄金時代は彼によって復活する!」と

ジュリオの当惑



映画王国イタリアの若者に圧倒的人気、ナンニ・モレットティ



この映画の主人公ジュリオは私たちだ……
いくつ傷をつくった卒業できるのか、
私たちの青春



主人公ジュリオは学生時代に友人たちと、新左翼に傾倒するが挫折し、神父への道を選んだ。新米神父として数年間離島で平和で幸せな日々をすごした彼は、青年らしい自信と理想にもえて愛する家族や友人の待つ故郷ローマへと帰ってくる。しかし、彼がそこで見たものは――妻に逃げられた痛手から人間不信におちいった友、学生時代の信念を実現するためテロリズムに走り投獄されている親友、あろうことか妹の友人と同棲をはじめた父、恋人の子を妊娠し中絶するという妹、そして夫を奪われ心身ともに疲れきった母の自殺……

俊英 ナンニ・モレットティ原作・脚本・監督・主演

ジャームツシュと同年齢(33才)のナンニ・モレットティは20才の時、初めて8ミリ作品を製作、以来16ミリを経て、初の35ミリ映画でカンヌ映画祭正式出品作となる。その後も、ヴェネチア映画祭金獅子賞を始め様々な賞を獲得。ベルリン映画祭で遂に世界に踊り出たのだ。俳優としてもイタリアの若者に熱狂的人気があり、映画雑誌の人気投票では常に上位にランクされているマルチ人間である。

ジム・ジャームツシュに続く新しい波!

提供 新日本映画社

近日 鮮烈のロードショー

シネマスクエア
とうきょう

全自由席定員制 ● 入替制

※満席および上映中の入場はできません。

連日	12:30	2:40	4:50	7:00
----	-------	------	------	------

●毎金・土曜はレイトショー実施/PM9:10より

特別鑑賞券¥1200発売中(当日¥1500均一の処)

新宿ミラノ座横3F (232)9274